

平成 28 年度 第 1 回静岡県作業療法士会 理事会議事録（平成 28 年 4 月 24 日）

出席者：秋山、梶原、稲葉、岩井、大石、岡庭、勝又、小林、齋藤、建木、林、村岡（理事：12 名）、
小笠原、谷川（監事：2 名）熊谷（顧問：1 名）清水（部長：1 名）

〔高岡、小坂、辻、久保寺、武内（書記）〕

場 所：静岡県作業療法士会事務局（静岡市） 13：30～17：10

※【平成 28 年度 第 1 回理事会資料】＜別紙資料＞に順じて進行

【報告・審議事項】

1. 公益社団法人認定の報告（勝又理事、岩井事務局長）

- ・ 4 月 1 日に公益社団法人移行認定となった。
- ・ 今後は○毎事業年度開始日の前日（3/31）まで事業計画書・収支予算書提出
 - 毎事業年度の経過後 3 ヶ月以内に定期提出書類（資料参照）
 - 立ち入り 下期（平成 29 年 10 月～3 月）*3 年毎に監査
- ・ SIG（組織編成、会計）について
3 つの SIG 共に県士会学術部内での活動として承諾が得られた。今年度より会計担当者を設け
独自で会計処理を行えるグループにしたい。SIG 担当者は学術部員として活動するのか、会計
処理方法をどうするかなど今後整理が必要。
【意見】・学術部の会計処理（領収証のとりまとめや金種表の確認等）が煩雑になるが、事務局
がまとめるとなると事務局内に会計担当の雇用検討が必要
 - ・ SIG として組織を構築した経緯もあるため、会計と組織作りとは分けて考え、組織を
変えていくには慎重・丁寧に進めるべき。
 - ・ 学術部内の活動となると研修会の費用も検討が必要か（現状は各 SIG の裁量）⇒ 今年度は組織や研修会費は現行通りに行い、来年度に向けて検討していく。
6 月 5 日に関係者に説明会を開催予定。

2. 記念式典開催について（秋山会長）

- ・ 予算組みしておらず、まずは基盤構築のため今年度は挨拶のみとし式典は行わない。

3. リハ専門職協議会設立の報告（岩井事務局長）

- ・ 4 月 1 日に P T 士会・S T 士会と協定を締結。
- ・ 3 月 31 日の会員数×300 円を協議会の運営費とする（今年度 1406 名）。
- ・ 訪問リハは今年度各士会からリーダーを選出（担当理事は齋藤理事）
- ・ 和泉氏（P T 士会会長）、菊池氏（P T 士会職能局長）徳永氏（S T 士会副会長）と医師会、歯科
医師会、看護協会に挨拶

4. 第 29 回静岡県 OT 学会 進捗（村岡理事）

- ・ 学会誌完成し来週発送。発送手段として県士会の登録するゆうメール（1 通 90 円）を使用したい。
⇒ 詳細な内訳を会計担当者が県士会事務局に報告。かかった金額は県士会事務局に返金。
- ・ 表彰委員会や総会運営委員と随時話し合っている。
- ・ 会場費の大幅な変更あり
⇒ まずは予算に見合った事業計画を立てること。
当初の予算に対して補正が入る場合は、必ず理事会と通して承認を得る。

5. 第 30 回静岡県 OT 学会 進捗（齋藤理事）

- ・ 公開講座や講演、30 回目の記念企画について、講師の選定・調整中
- ・ ロゴを作成しチラシを 29 回学会にて配布

6. 50 周年記念イベント進捗（岡庭理事）

- ・ 企画書に修正が掛かったため、修正し返信した。近日中に正式に事業決定がある。
- ・ 各県に 50 万円の事業費を支給される。

7. 静岡県作業療法士連盟設立の進捗（熊谷顧問）

- ・ 新人オリエンテーションにて、連盟「設立の趣旨とごあいさつ」を配布した。
- ・ 立ち上げるための資金集めを行う

8. 総会開催準備（久保寺、武内）

【報告事項】

- ・ 総会議案集を校正作業中。印刷部数は 1470 部（会員 1364 名、予備 100 部）
- ・ 総会運営は例年同様の運営方法

【確認依頼事項】

- ・ 同封文書の確認 ⇒ 一部修正し議案集に先立ち印刷開始依頼
- ・ 運営委員の選出：4 月 29 日までに依頼、5 月 13 日までに推薦。久保寺委員まで連絡

9. 各種委員の推薦依頼の確認（事務局）

- ・表彰関連で意見あり ⇒ 表彰委員へ書類渡す

【各部報告】※紙面報告及び

1. 渉外部、47委員会（秋山会長）：紙面報告
2. 都道府県連絡協議会（岡庭理事）：特になし
3. 制度対策部（梶原副会長）：特になし
4. 調査部（大庭理事）：特になし
5. 学術部（学術部）：清水部長

- ・平成28年度第2・3回学術部研修会は、講師の都合で現在日程交渉と内容を調整中。

6. 教育部（稲葉理事）

- ・MTDLP研修（Cコース）は7回実施するが、参加者が見込めるか。⇒計画倒れにならないように。

7. 事業部（建木理事）：特になし

8. 地域活動推進部（林理事）：紙面報告

【地区活動報告】特になし

9. 広報部（大石理事）：紙面報告

10. 福利部（齋藤理事）

- ・29回学会より相談あり。休会中の会員から研修会の参加希望あり。

⇒ 会員としての参加は協会が認めておらず、県士会はそれに準じているため認められない。

11. 静岡県リハビリテーション専門職団体協議会

- ①地域包括ケアシステム・介護予防関連：特になし
- ②災害対策委員会（村岡理事）：特になし
- ③訪問リハビリテーション連絡委員会（齋藤理事）：特になし

12. 事務局：上頁参照

13. その他：予算・決算報告（小林理事）

1) 会計処理の方法

- ・源泉徴収は領収が出た時点で各部から事務局に返金。
- ・勘定項目に沿った報告を徹底していきたい（「雑費」等の報告は×）。

2) 決算・予算について

- ・当初予算（1900万円）と決算（1480万円）の差が大きい。
- ・来年は予算の出し方を工夫、各部に予算幅を提示し毎月の決算進捗を迫るようにする。
- ・予算立ての責任の所在を明確にすること。手数料など詳細な把握も役割を明確にする必要がある。

3) 公益法人会計について

- ・遊休財産は次年度の公益事業（＝今年度と同一の公益事業費）に対して期末残高が300万円多い。
東海北陸学会の積み立ての他に新事業に向けた積み立てが必要。今後検討。
- ・前年度事業に対して新たな事業を始める際には申請が必要 ⇒ その都度勝又理事へ確認

4) まとめ

- ・予算編成会議を開催し公益法人としての事務局機能を強化する。
- ・予算変更や補正予算が必要な場合は、必ず理事会を通し承認を得る。

【次回】

第2回理事会日程（候補日）：6月4日、11日の両日で欠席した理事に予定確認後決定

※学会終了後、拡大理事会（部長出席）

平成28年度理事会開催予定日および開催日

	開催日・候補日		備考	主な行事
第1回	4月	24日（日）	新人リエンテーション時	
第2回	6月	4日、11日、（18日）、25日	部長会開催	6月18日PT県学会
第3回	8月	6日、13日、20日、27日	納涼会	
第4回	10月	1日、8日、15日、22日、29日		
第5回	12月	3日、10日、17日、24日	部長会開催、忘年会	
第6回	2月	4日、18日、25日	ヒヤリング	
第7回	3月	25日（土）or 26日（日）	年度末の会計	